

いなさの風

上野間小だより 令和2年12月号

コロナによって得たもの

校長 吉川 正美

11月18日～19日、上野間小学校は1泊2日の修学旅行を行いました。スローガンは、「学ぼう歴史！深めよう絆！～23人で作る最高の思い出～」です。しかし、コロナ禍の下、感染対策のためさまざまな制約があり、例年のような修学旅行はできません。子どもたちにとって、最高の思い出にできるのかとても心配でした。でも、いざ行ってみると…。



行き先は、観光客で混雑しそうな京都をやめ、奈良だけの2日間としました。実際奈良の人出はさほどではなく、すいすいと行程をこなすことができました。そして、歴史学習としては、飛鳥時代から奈良時代の学習が思いのほか深まり（感染対策のためバス内レクをやめて歴史DVD鑑賞にしたことも要因）、「学ぼう歴史！」を例年以上に実現することができました。

交通手段は、新幹線やタクシーでの班別行動をやめ、全行程バス移動にしました。おかげで、感染対策もしやすかったし、全員で巡る時間が長くなり、「深めよう絆！」も十分達成できたと思います。

その他にも、Go To キャンペーンで費用が低く抑えられ、ガイドレシーバーも使えましたし、古墳石室に入ったりまが玉作りをしたりという体験活動を行程に組み込むこともできました。例年とはかなり違う行程の修学旅行でしたが、子どもたちの笑顔を見てみると「23人で作る最高の思い出」は十分できたように思われました。

修学旅行以外でも、先日の学習発表会では、歌や舞台の使い方などの感染対策の下、台詞や映像による表現の工夫など、例年になく取り組みも見られました。感染対策のおかげで、そもそもの目的や実施方法を一から考え直すことができたように思います。

コロナによって得られたものとしては、一つ一つの新たな実施方法という表面的なものもありますが、これまで何となく例年通りやってきたことについて「目的は何なのか、現在の方法はその目的を達成するためのものとして本当にふさわしいものなのか」など、『物事を根本から考え直す姿勢』の方が大きいのではないかと思います。学校は今、次年度の計画作りに入っています。一つ一つ根本から見直すことで、マンネリ化から脱却し、新たなものが生まれそうで楽しみです。

12月・1月の予定

<12月>

- 9～11日 個人懇談会（4時間授業）
- 22日 給食終了
- 23日 終業式



<1月>

- 7日 3学期始業式
- 8日 給食開始、5時間授業
- 12日 PTA委員会
- 12～15日の間に 地震避難訓練



<12・1月の予定で中止になった行事>

- ・PTAもちつき大会
- ・美浜町タウンマラソン

<12・1月の予定で延期となった行事>

- ・なし

みはまの教育・合い言葉 「広げよう! 明るいいいさつ 素直な心」

学習発表会 (11/13)

学習発表会を開催しました。制限のある中での活動でしたが、どの学年も学習したことや自分たちの思いをしっかりと発表することができました。参観された保護者の皆様におきましては、感染症対策にご協力いただきありがとうございました。



【1年：ぼくたち上野間小学校1年生】



【2年：お手紙】



【3年：上野間ちょうさたい
～校区たんけんレポート～】



【4年：ともに生きる】



【5年：今、わたしたちにできること】



【6年：今日からあなたも 歴史王】

修学旅行【6年生】(11/18・19)

6年生が一泊二日の修学旅行に行ってきました。今年は奈良県のみでの活動でした。数々の文化遺産の見学や体験活動を通して、日本の古代史について学ぶことができました。また、友達と寝食をともにし、絆を深める2日間となりました。



【法隆寺】



【石舞台古墳】



【まが玉作り体験】



【旅館】



【東大寺】



【奈良公園】

